

奥能登国際芸術祭

今、見に行ける常設作品

(令和7年6月現在)



5 リュウ・ジャンファ
【劉建華】〈中国〉
漂移する風景



中国の陶磁器の名産地である景德鎮の磁器と、中世の日本を代表する焼き物であった珠洲焼を織り交ぜ、大陸と珠洲の海を越えた文化交流のあり方を問う作品。第一回の奥能登国際芸術祭で制作され、当時は見附島をのぞむ海岸に、あたかも海からの漂流物のように並べられた。会期後は、蛸島エリアの珠洲焼資料館に移設されている。



6 トビアス・レーベルガー 〈ドイツ〉
Something Else is Possible/
なにか他にできる



蛸島駅は、国鉄能登線の終着駅として開業したが、能登線の廃線に伴い廃駅となった。作家は、「旧鉄道の終着点を地域の再生と未来を望むような場所に」という思いで作品を構想。線路跡に置かれたカラフルなフレームは駅に向かって渦を巻くように広がり、あたかも地域の過去・現在・未来を旅するかのよう、劇的な視界の変化を楽しめる。

エレン・エスコバート 〈Cost〉
(1980年、メキシコ自治大学文化センターに恒久設置)を参照



7 大岩オスカル
〈ブラジル／アメリカ〉
植木鉢



のと鉄道能登線の旧正院駅の線路脇に埋められた巨大な植木鉢。不要となった焼酎貯蔵用の巨大なタンクをリサイクルし、作家がペイントを施したもので、秋に紅葉する植物が植えられている。春には桜が美しいことで知られるこの場所に、作家は珠洲の新たな庭を作り出すことを構想し、花見の季節以外にも人々が集えるような空間を手掛けた。



8 ラックス・メディア・コレクティブ
〈インド〉
うつしみ



旧上戸駅の駅舎のシルエットをなぞった構造物が、屋根の上に角度を変えて重ねられている。日中はプラットフォームや周囲の田んぼ、山並みと一体化しているが、夜になると構造物に塗られた蛍光塗料がブラックライトに照らされて、青白く光り出す。第1回芸術祭で制作され、常設作品として会期終了後も每晚光が灯され続けている。

※夜間点灯作品 日没～21時ごろまで



1 奥村浩之 〈日本／メキシコ〉
風と波



作家の石彫を特徴づける「割戻し」という技法でつくられた、うねる波のような造形。白く輝く石素材のテクスチャーは、陽光の当たり方によって異なる表情を見せ、時に優しく、時に荒々しい、珠洲の波や風を思わせる。高い空と広い海という大自然に囲まれても、どっしりと安定した石彫は圧倒的な存在感を感じさせる。

協力＝せきがは人間村生活美術館



3 リチャード・ディーコン〈イギリス〉
Infinity 41.42.43



外浦海岸でも美しい場所として知られる木ノ浦湾。能登半島の先端に位置する珠洲の特異性に関心を抱いた作家は、45度の角度で空からの光を集め反射する送受信機のような彫刻作品《Infinity》を海岸に3点設置する。《Infinity》は2001年からのシリーズ作品。数学、物理の要素を含み、作家の制作の根源であるSFや宇宙、ネットワークなどのモチーフが垣間見られる。

助成＝プリティッシュ・カウシル
グレートブリテン・ササカワ財団



9 N.S. ハーシャ 〈インド〉
なぜここにいるのだろう



作家は、珠洲の海岸にたくさん辿り着く漂着物と、インドの動物園で起きた麒麟の交換プログラムの出来事とを重ねた。故郷や地域性が乏しくなっている現代への問いかけとして、「迷子の麒麟」の親子を制作。母親は海を見つめ、赤ん坊はお乳を吸うのに忙しんでいる。彼らに帰る家はあるのだろうか？もしあるとすれば、それはどこなのだろうか？



2 アレクサンドル・ポノマリョフ
〈旧ソ連【ドニプロ】／ロシア〉
TENGAi



一つのランドスケープアートとして、海を見下ろす緑の丘に立つ。古いパーゴラ（東屋の支柱）のある場所に、地元の酒造で使われなくなった酒タンクを利用し、帆柱、帆桁、帆綱を駆使して船がモチーフのインスタレーションを制作する。帆柱は四角柱で、奥能登の巨大なギリコを意識してデザインされ、構図は黄金比の原理に従って、フィボナッチ数列を使い構築されている。風が吹くことによって帆綱の一部が振動し、酒タンクが共鳴器となって風の音が鳴る「ハーブ」のような機能も併せ持つ。



4 ラグジュアリー・ロジコ
【豪華朗機工】〈台湾〉
家のささやき



瓦を通して、「記憶」、「家」、「人口」、「産業」など、素材と地域問題の関連性をとりあげる。作家は、家というものを記憶を集めるエネルギーの象徴と考え、「集まることは力になる」をコンセプトに、昔の記憶を掘り起こしていく。この地を離れた人々が、ふたたび戻ってくるようにという願いが込められた作品。

助成＝台湾文化部
協力＝台北駐日経済文化代表処台湾文化センター



注意事項

- 地震の影響により、道路・通路の地割れや破損がありますので、十分気をつけながら鑑賞してください。また、通行可能な箇所でも、落石等の危険性が高い場合がありますので、通行には十分注意して下さい。
- 工事車両や地域住民の通行の妨げにならないよう、ご配慮をお願いします。
- 飲食店や各施設の最新の情報については、それぞれの店舗に直接お問い合わせください。
- 屋内作品の鑑賞については、10名以上の事前予約のみ受付しております。詳しくは本パンフレットに記載の連絡先までお問い合わせください。
- 今後も、気象状況や復旧工事などの影響により、一時的に通行止めや迂回が生じる場合もあります。
- 鑑賞可能な作品の最新情報については、公式WEBサイトをご確認ください。

最新の道路状況はこちらから
「石川みち情報ネット」
<https://douro.pref.ishikawa.lg.jp/>

